

平成25年4月 学位規則の改正 博士論文のインターネット公表義務化

本学の博士論文は機関リポジトリで公開

<https://repo.lib.tut.ac.jp/>

■ 学位規則の改正と学術機関リポジトリ

学位規則の一部を改正する省令(平成25年文部科学省令第5号)が平成25年3月11日に交付され、平成25年4月1日に施行されました。今回の学位規則の改正により、これまでの印刷媒体での博士論文公表の義務化に代わり、電子化された博士論文をインターネットを通じて公表することが義務付けられました。

やむを得ない事由がある場合を除き、学位授与大学の機関リポジトリ等を通じて、学位取得後1年以内にインターネットにより全文が公表されます。

本学では、平成25年4月以降学位を取得した博士論文については、[豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ](#)において公表します。本学機関リポジトリで公表された論文は国立国会図書館でもデータが自動収集されて閲覧できるようになります。

これまで博士論文の利用は、主として本学図書館と国立国会図書館での冊子閲覧によるものでしたが、インターネットでの公表により、より多くの人の目に触れることになります。

学位規則の改正概要

【改正の趣旨・概要】

- 大学の教育研究の成果である博士論文等の質を相互に保証し合う仕組みとして、博士論文等を相互に参照できるよう公表することを規定している。
- 公表の方法については、制度創設の昭和28年以來「印刷公表」(単行の書籍又は学術雑誌等の公刊物に登載すること)によると規定されてきたところ、情報化の進んだ現下の状況に合わせて、また、印刷の負担軽減の観点から、「インターネットの利用による公表」とする改正を行う。

学位規則(抄)[改正前]

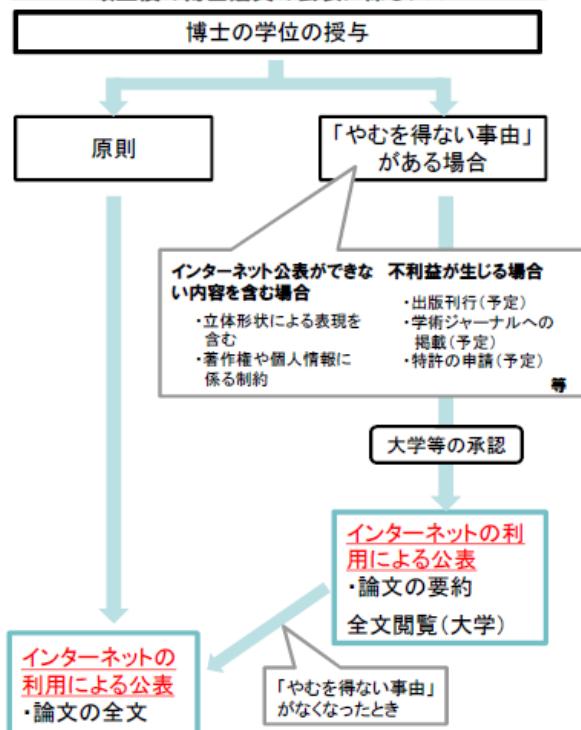
第九条 博士の学位を授与された者は、当該学位を授与された日から一年以内に、その論文を印刷公表するものとする。

→ 「インターネットの利用による公表」に改正

- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の承認を受けて、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものを印刷公表することができる。

平成25年4月1日施行予定
(施行日以降に授与する学位に適用)

改正後の博士論文の公表に係るフロー



“学位規則等の改正について” 文部科学省（オンライン）

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/03/13/1331809_03.pdf

(参照2013-05-23) より 図引用

■ 博士論文の提出方法 —H25.4以降学位取得の方—

これまで紙媒体で博士論文を提出して頂いていましたが、電子媒体(PDFファイル)での提出に変わります。

【H25.4以降】

STEP1

- A 学位取得後、博士論文の電子版を直ちに公開してもよいか
B 「やむを得ない事由」(留保事由)があり直ちには公開できないか
指導教員と相談の上選択してください。「登録許諾書」※1に記入。



STEP2

- A 直ちに電子版を公開してもよい方
「博士論文の全文のPDFファイル」を作成
※2
- B 「やむを得ない事由」(留保事由)があり、直ちには公開不可の方
「博士論文の論文要約のPDFファイル」と
「博士論文の全文のPDFファイル」を作成※2



STEP3

「登録許諾書」とPDFファイルを電子メールに添付、
あるいはCD-ROMやUSBなどのメディアで 教務課 教務係までお送りください。

【登録許諾書・PDFファイル提出先】

教務課 教務係

 kyoumu@office.tut.ac.jp

- ※1 「登録許諾書」は「豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ登録許諾書」(博士論文用)
[機関リポジトリページ > ドキュメント](#)
の「様式」登録許諾書の項目からダウンロード可能です。
「やむを得ない事由」がある場合は事由の内容および、いつから公開可能かを必ず記述してください。
- ※2
・**博士論文全文**はPDFファイル(PDF/A(ISO-19005)が望ましい)で作成し、提出してください。
・PDFファイルの容量が大きい場合は、CD-ROMやUSBなどのメディアでの提出も可能です。
・表紙・目次・図表なども含め1ファイルで作成してください。但し、機関リポジトリには分割して登録する場合があります。
・また、長期的な可読性・保存、アクセシビリティの確保のため、下記の点に注意して作成してください。
✓ 機種あるいはベンダー依存の形式ではないこと
✓ 外部情報源(外部フォント等)を参照していないこと
✓ 暗号化・パスワードの設定・印刷制限等を行わないこと
・やむを得ない事由でただちに公開できない方は、**博士論文要約を作成し、要約と全文ファイルの両方**をお送りください。やむを得ない事由が解消された時点で、要約から全文の公開に移行します。

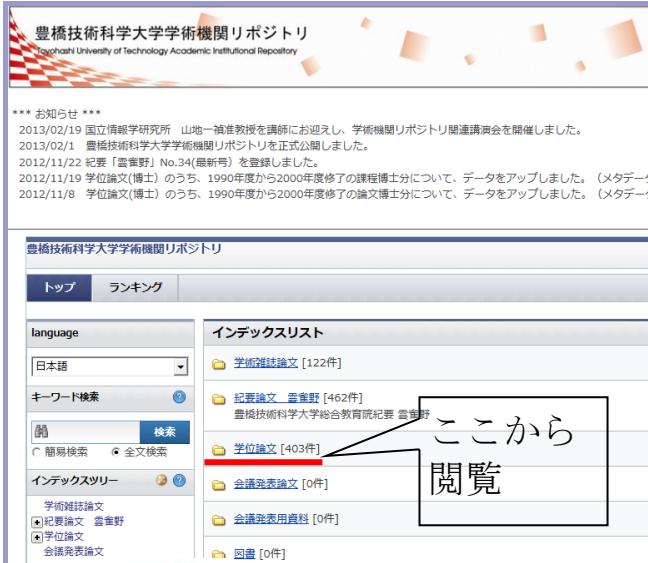
■ 博士論文データの公開について

提出して頂いた博士論文(あるいは博士論文要約)のPDFファイルは、教務係から図書館へ転送し、図書館でメタデータ(タイトルなど書誌情報)を付与して、[本学機関リポジトリ](#)に登録し無償公開します。利用者はインターネットを通じて閲覧可能となります。

国立国会図書館は本学機関リポジトリのデータを自動収集して取り込み、国会図書館内で公開します。

豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ【接続先】

<https://repo.lib.tut.ac.jp/>



豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ
Toyohashi University of Technology Academic Institutional Repository

*** お知らせ ***
2013/02/19 国立情報学研究所 山地一徳准教授を講師に迎えし、学術機関リポジトリ開講演会を開催しました。
2013/02/1 豊橋技術科学大学学術機関リポジトリを正式公開しました。
2012/11/22 紀要「雲雀野」No.34(最新号)を登録しました。
2012/11/19 学位論文(博士)のうち、1990年度から2000年度修了の課程博士分について、データをアップしました。(メタデータ
2012/11/8 学位論文(博士)のうち、1990年度から2000年度修了の論文博士分について、データをアップしました。(メタデータ

豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ

トップ ランキング

language 日本語

キーワード検索 検索

学術雑誌論文 紀要論文 学位論文 会議発表論文

インデックスリスト

- 学術雑誌論文 [122件]
- 紀要論文 雲雀野 [462件]
- 学位論文 [403件]**
- 会議発表論文 [0件]
- 会議発表用資料 [0件]
- 図書 [0件]

学位論文 > 課程博士 > 1990-1999年 検索結果例
Permalink : <http://id.nii.ac.jp/1117/00000579/>

利用統計を見る

エピタキシャルAl[2]O[3]薄膜を用いたSOI構造形成に関する研究

File / Name License
phdk0042  Creative Commons : 表示 - 非営利 - 改変禁止

phdk0042 (98.39MB) [8 downloads]     

アイテムタイプ 学位論文 / Thesis or Dissertation

言語 日本語

著者 澤田 和明

取得学位 工学博士

学位授与大学 豊橋技術科学大学

学位授与年月日 1991-03-22

報告番号 甲第42号

関連サイト [NDLデジタル化資料](#)

著者版フラグ author

公開状況 公開



■ FAQ よくあるご質問

Q 機関リポジトリとは何ですか

A [豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ](#) とは、本学で生産された学術研究成果(雑誌論文・紀要論文・学位論文など)を収集、電子的に蓄積保存し、インターネットを通じて広く世界に向けて公開する、知の保存書庫であり、情報発信サービスです。

本学では、平成24年11月より、NII(国立情報学研究所)のJAIRO Cloud上に学術研究成果のデータを保存し情報を発信しています。[JAIRO](#)(ジャイロ:NII 学術機関リポジトリポータル)では、国内学術機関で作成された機関リポジトリデータが検索できます。

Q 特許申請のために、論文をすぐには公開できないのですが。

A 特許申請予定である場合は、やむを得ない事由にあたります。特許出願までの一定期間、公開しないことができます。登録許諾書にその旨記入して提出してください。

Q 雑誌掲載論文を学位論文として提出予定です。著作権が関係しませんか。

A 博士論文の著作権は著者本人にあり、機関リポジトリに掲載しても著作権が移行することはありません。しかし、学術雑誌論文や図書として掲載・出版されている論文は、契約によって出版社に著作権が譲渡されています。無償公開すると出版社に不利益が生じると考えられますのでやむを得ない事由になります。

このような場合は、一度図書館にご相談ください。

副論文・参考論文として学術雑誌論文等の抜刷を付している場合も同じです。

Q 論文内で、画像を使用しています。

A 論文内で引用している図表や写真、データ・資料等については、Webで無償公開して良いものか、著者本人の方が確認をしてください。引用の範囲を超える場合は、著作権者の許諾が必要です。著作権者の公開許可が確認できない図表や写真、データ・資料等については当該部分にマスクをして、その部分のみ非公開にして登録することも可能です。非公開にする部分をお知らせください。

(参考) 豊橋技術科学大学「豊橋技術科学大学学位規程」

<http://www.tut.ac.jp/gakusoku/?q=node/180> (参照2013-06-13)

文部科学省「学位規則の一部を改正する省令の施行について」

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakuin/detail/1331790.htm (参照2013-05-28)

国立国会図書館「国内博士論文の収集について」

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/hakuron.html> (参照 2013-05-28)

【博士論文についてお問い合わせ先】

論文提出・書類 等 . . . 教務課 教務係 内線 6545

リポジトリデータ登録 . . . 教務課 情報サービス係 内線6564



2013年5月現在、本学機関リポジトリでは、既に著者の許諾を得た1990年度から2000年度修了の論文博士本文PDF36件(メタデータ138件)課程博士本文PDF44件(メタデータ265件)を公開中です。

2013年3月以前に学位を授与された方で、本学リポジトリへの登録・公開を許諾して頂ける場合は、「[登録許諾書\(博士論文既提出者用\)](#)」および、「[博士論文の電子ファイル](#)」を こちらのコンテンツ送付先専用メールアドレスへ送付してください。電子ファイルがない場合は、図書館で博士論文の冊子を所蔵しているので、冊子からPDFファイルを作成し、登録・公開させて頂きます。

[コンテンツ送付先専用メールアドレス>>](mailto:ir-reg@lib.tut.ac.jp)

是非、論文のご提供をお願いします。詳しくは 機関リポジトリサイトへ <https://repo.lib.tut.ac.jp/>



国立大学法人豊橋技術科学大学 教務課図書・情報グループ 情報サービス係

お問合せ先 E-mail: gakujo@office.tut.ac.jp 電話:0532-44-6564 内線 6564